

平成24年度第4回森林の未来を考える懇談会資料

# 「<sup>も</sup>り<sup>り</sup>森林とのきずな」の再生に向けた 取組みについて

- 「<sup>も</sup>り<sup>り</sup>森林とのきずな」の再生に向けた取組みについて
- 県民参加の森林づくり(県民運動の浸透・拡大)の方策
- 招致に向けたスケジュール

平成25年 3月26日

福島県農林水産部森林計画課



# ○「森林とのきずな」の再生に向けた取組みについて

- ・ 震災・原子力災害により森林環境は大きく変化
- ・ 被災森林の復旧や放射性物質からの森林再生が急務
- ・ これらの復旧・再生には、行政だけでなく県民や企業、NPO等と一体となった取組みが必要

**震災・原子力災害**

**県民運動の浸透・拡大**

平成30年  
全国植樹祭

豊かな  
森林を  
次世代へ  
継承

①意識の醸成に資する情報発信

②森林づくり活動の活性化

参加する方々の  
拡大と多様化を図る

- ・ 森林に対する  
県民意識の変化
- ・ 放射線に対する  
意識の差や情報不足
- ・ 森林づくり活動の停滞

森林と県民との関わりが  
薄れてしまう危機

県民参画による  
森林づくり活動の  
活性化

連携・情報交換

公共事業等による  
森林の復旧・再生

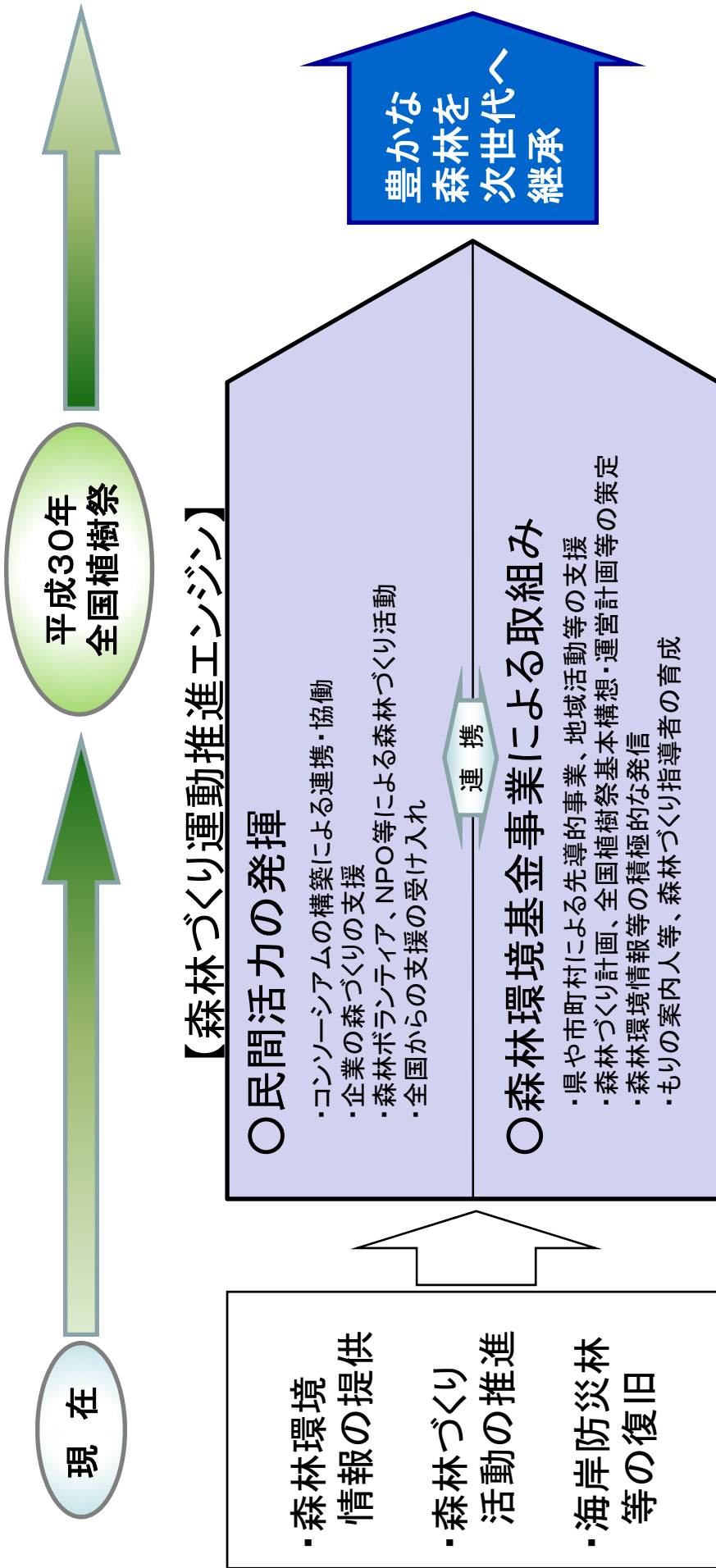
さらなる浸透・拡大

森林環境の現状や  
取組内容を発信

県民意識の反映

**復興に向けて歩み続ける県民の姿と森林の再生を全国に発信**

# 県民参加の森林づくり(県民運動の浸透・拡大)の方策



現在

平成30年  
全国植樹祭

## 【森林づくり運動推進エンジン】

### ○民間活力の発揮

- ・コンソーシアムの構築による連携・協働
- ・企業の森づくりの支援
- ・森林ボランティア、NPO等による森林づくり活動
- ・全国からの支援の受け入れ

連携

### ○森林環境基金事業による取り組み

- ・県や市町村による先導的事業、地域活動等の支援
- ・森林づくり計画、全国植樹祭基本構想・運営計画等の策定
- ・森林環境情報等の積極的な発信
- ・もりの案内人等、森林づくり指導者の育成

豊かな  
森林を  
次世代へ  
継承

## 全国植樹祭

### (開催の意義)

- ・県民一人一人が参画する森林づくり活動
- ・森林づくりを支える参加者の拡大と多様化
- ・福島(森林)の再生を全国に発信する「復興のシンボル事業」
- ・県民が一体となって進めている復旧・復興を更に加速
- ・支援いただいた自治体や企業・NPO等への感謝を届ける

### (概要)

- ・時期 平成30年春季(震災から7年)
- ・主催 公益社団法人国土緑化推進機構・福島県
- ・規模 1万人程度(H21～24開催県平均:10,125人)
- ・経費 7億円程度(H21～24開催県平均:722百万円)
- ・特徴 県民みんなどで創る植樹祭、ボランティア団体や企業との連携、準備段階からの環境対策等

# 招致に向けたスケジュール

## ○ 全国植樹祭とは

- ・国土緑化運動の中心的行事として、天皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国各地から多くの参加者を得て、毎年春に開催。
- ・主催は、公益社団法人国土緑化推進機構と開催都道府県。
- ・内容は、天皇后両陛下のお手植え、お手播きをはじめ、全国からの参加者による記念植樹や緑化功労者表彰などの各種セレモニーが催される。

## ○ 本県での開催

- ・昭和45年5月に猪苗代町天鏡台を会場に、県内外から参加者約2万人の規模で開催。



天皇后両陛下お手植え

## ○ 準備スケジュール(想定)



